



2023年版東洋経済CSR評価項目一覧

項目名・評価得点・ポイント

■人材活用

No	評価項目	2023年版 新規	得点	平均点	ポイント
1	女性従業員比率		2	0.37	女性比率が高いほうが得点も高い。
2	世代別女性従業員数		2	1.50	各世代の女性従業員数の回答で得点化、上限あり。
3	離職者状況		2	1.52	回答があれば得点あり。
4	年間総労働時間の回答		2	1.32	回答があれば得点あり。
5	残業時間・残業手当		3	1.41	少ないほうがよい。回答があれば得点あり。残業手当は回答得点のみ。
6	残業削減の取り組み		3	2.41	取り組み、取り組み内容を合わせて見ている。内容は回答があれば差はつかない。
7	30歳平均賃金		3	1.27	一定金額以上で得点プラス。27万円以上、32万円以上で差がつく。
8	外国人管理職の有無		2	0.65	一定人数以上いれば得点。
9	女性管理職比率		2	0.48	高いほうがよい。
10	女性部長比率		2	0.42	高いほうがよい。
11	女性役員比率		2	0.79	1人でもいれば得点だが高いほうがよい。
12	ダイバーシティ推進の基本理念		1	0.58	基本理念が回答(妥当な内容)されていれば得点。
13	多様な人材登用部署		2	0.88	専任、設置予定の得点が高い。
14	多様な管理職登用(比率)の目標値		1	0.56	妥当な目標値が回答されていれば得点。
15	障害者雇用率(実績)		4	1.40	高いほうがよい。2.3%は2点。
16	障害者雇用率の目標値		1	0.62	妥当な目標値が回答されていれば得点。
17	65歳までの雇用・定年後の就業機会		3	2.17	「全員雇用」が最も得点が高い。定年後の就業機会確保も見ている。
18	正社員の定年年齢	●	2	0.33	「定年なし」「65歳以上」が最も得点が高い。「60歳超」で加点。
19	LGBTへの対応		2	1.34	基本方針、取り組みを合わせて見ている。基本方針は回答があれば差はつかない。
20	有給休暇取得率(最新年度)		5	1.61	高いほうがよい。90%以上で最高得点。
21	産休期間		2	0.25	法定以上のほうが得点は高い。
22	産休取得者		2	1.36	3年間で見ている。
23	育児休業取得者		2	1.45	3年間で見ている。
24	男性の育児休業取得者		2	1.37	3年間で見ている。
25	男性の育児休業取得率		3	1.00	取得率が高いほうがよい。回答得点もあり。
26	配偶者の出産休暇制度		1	0.80	制度ありで得点。
27	介護休業取得者		3	1.52	単年度の人数、3年間の回答状況を見ている。
28	看護休暇・介護休暇		3	1.61	法定以上のほうが得点は高い。
29	退職した社員の再雇用制度		2	1.09	「有」のほうが得点は高い。
30	ユニークな両立支援制度		2	1.00	何らかの制度があれば得点。
31	勤務形態の柔軟化に関する諸制度		5	3.83	各諸制度の積み上げで得点化。上限あり。
32	テレワークの導入		1	0.75	導入していれば得点あり。
33	副業・兼業		1	0.38	認めていれば得点あり。
34	ハラスメント防止		1	0.91	取り組みを行っていれば得点あり。
35	従業員のインセンティブを高めるための諸制度		5	3.60	各諸制度の積み上げで得点化。上限あり。
36	労働安全衛生マネジメントシステム		2	1.46	「有」のほうが得点は高い。
37	労働安全衛生分野の表彰歴		2	0.59	表彰事例の回答があれば得点あり。連続で有のほうが得点は高い。
38	労働災害度数率		1	0.19	一定比率以下(2年分)で得点。
39	メンタルヘルス休職者数		2	1.32	回答得点のみ。2年以上の回答でプラス得点。数値は見えていない。
40	人権尊重等の方針		2	1.64	「有」のほうが得点は高い。

41	人権尊重等の取り組み		2	1.06	取り組みが記載(妥当な内容)されていれば得点。
42	中核的労働基準を尊重した経営		2	1.36	「有」のほうが得点は高い。
43	中核的労働基準4分野の対応状況		2	1.30	対応分野が多いほうが得点は高いが上限あり。
44	人権デューデリジェンスの取り組み	●	1	0.50	「行っている」で得点。
45	能力・評価結果の本人への公開		2	1.66	「公開」のほうが得点は高い。
46	従業員の評価基準		2	1.69	「公開」のほうが得点は高い。評価反映項目の回答でプラス得点。
47	1人当たり年間教育研修費用		2	0.67	回答得点と金額の2段階で得点化。
48	従業員の満足度調査		2	1.48	「行っている」のほうが得点は高い。
49	キャリア形成支援		3	1.74	キャリアパス・キャリアマップ等の提示、キャリア研修、キャリア相談の3つで得点化。
50	新卒入社者の3年後定着度		4	2.03	新卒3年後定着率が高いほうが得点は高い。75%以上が目安。95%以上が最高得点。
51	発生した労働問題の開示		1	0.15	回答があれば得点。
			基礎得点満点	113	

■環境

No	評価項目	2023年版 新規	得点	平均点	ポイント
1	環境担当部署の有無		2	1.20	「専任」が得点は最も高い。
2	環境担当役員の有無		2	0.74	「専任」が得点は最も高い。
3	同役員の担当職域		2	0.18	「100%」のほうが高得点。
4	環境方針文書の有無		2	1.41	「有」のほうが高得点。
5	環境会計の有無		1	0.36	「有」のほうが高得点。
6	同会計における費用と効果の把握状況		2	0.75	環境省ガイドライン、自社・業界独自いずれも同じ得点。
7	環境会計の主要項目開示 (パフォーマンスの開示状況)		3	1.58	一定以上の回答で満点。
8	環境監査の実施状況		3	2.13	実施しているほうが高い。
9	ISO14001取得体制		3	2.24	ISO14001、自社独自いずれも同じ得点。
10	ISO14001取得率(国内・海外)		4	1.63	取得率が高いほうが得点が高い。自社独自の取得率(把握率)でも可。国内・海外を合わせた評価。
11	グリーン購入体制		2	1.21	GPN、自社独自指針いずれも同じ得点。
12	事務用品等のグリーン購入比率		3	0.68	80%以上が目安。
13	原材料のグリーン調達		3	1.72	実施しているほうが得点が高い。
14	原材料調達の取引先対応		2	0.99	回答があれば得点あり。
15	環境ラベリング		3	1.55	「開示」のほうが高得点。
16	土壌・地下水の汚染状況把握		2	1.28	回答があれば得点あり。
17	水問題の認識		1	0.85	回答があれば得点あり。
18	環境関連法令違反の有無		3	2.01	無いほうが得点が高い。未回答はゼロ点。
19	環境問題を引き起こす事故・汚染の有無		3	2.00	無いほうが得点が高い。未回答はゼロ点。
20	環境分野・CO ₂ 排出量等削減への中期計画の有無		5	3.51	「有」のほうが高得点。さらに妥当な内容の回答があるとプラス得点。
21	スコープ3		2	1.19	数値回答有で評価。カテゴリーや数値内容では評価していない。
22	炭素利益率(ROC)		2	1.16	温室効果ガス排出量(スコープ1+2も可)の回答があれば得点。
23	温室効果ガス排出量削減	●	3	0.58	2年連続回答ありで得点。一定以上のScope1+2の昨年比削減率で加点。
24	廃棄物等総排出量削減	●	2	0.56	2年連続回答ありで得点。一定以上の廃棄物等総排出量の昨年比削減率で加点。
25	2021年度の環境目標・実績		4	1.71	目標・実績回答が重要。自己評価はすべて回答があった場合は得点のプラスはなし。
26	気候変動への対応の取り組み		2	1.70	「行っている」のほうが高得点。回答があれば得点あり。
27	気候変動に関するシナリオ分析		2	1.29	「行っている」のほうが高得点。回答があれば得点あり。
28	再生可能エネルギーの利用		3	1.23	「行っている」で得点あり。利用率の回答有と数値状況でさらに加点。
29	カーボンプライシングの認識		1	0.78	回答があれば得点あり。
30	環境関連の表彰歴		2	0.57	表彰事例の回答があれば得点あり。2年連続で有のほうが高得点。
31	環境ビジネスへの取り組み		3	1.94	「行っている」のほうが高得点。回答があれば得点あり。具体的内容の回答でプラス得点。
32	プラスチック削減の取り組み		3	1.71	回答があれば得点あり。具体的内容の回答でプラス得点。
33	生物多様性保全への取り組み		3	1.48	妥当な回答があれば得点。
34	生物多様性保全プロジェクトへの支出額		5	1.01	売上規模ごと(3段階)の得点。把握して回答することが重要という認識。
		基礎得点 満点	88		

■企業統治

No	評価項目	2023年版 新規	得点	平均点	ポイント
1	中長期的な企業価値向上の基礎となる経営理念		2	1.78	「有」のほうが高得点。
2	CSR活動のマテリアリティ設定		3	2.12	「有」のほうが高得点。マテリアリティの内容の回答でプラス得点。
3	ステークホルダー・エンゲージメント		3	2.00	「有」のほうが高得点。エンゲージメントの内容の回答でプラス得点。
4	活動報告の第三者の関与		2	1.10	「有」のほうが高得点。
5	英文での活動報告		2	1.35	「有」のほうが高得点。
6	CSR担当部署の有無		2	1.21	「専任部署:有」のほうが高得点。
7	CSR担当役員の有無		2	0.77	「専任」が高得点。
8	同役員の担当職域		2	0.22	「100%」のほうが高得点。
9	CSR方針の文書化の有無		2	1.39	「有」のほうが高得点。
10	IR担当部署		2	1.44	「専任部署:有」のほうが高得点。
11	法令順守関連部署		2	1.47	「専任部署:有」のほうが高得点。
12	国内外のCSR関連基準への参加等		3	1.97	参加の件数で得点化だが上限あり。3分の1以下でも満点になる。
13	内部監査部門の有無		2	1.80	「有」のほうが高得点。
14	内部通報窓口(社内・社外)設置		3	2.59	「設置済み」のほうが高得点。
15	内部通報者の権利保護に関する規定制定		3	2.70	「制定済み」のほうが高得点。
16	内部通報件数		5	2.24	数値回答有で評価。2年連続回答有のほうが高得点。数値内容でプラス得点。さらに実効性向上への取り組み内容の回答でもプラス得点。
17	公正取引委員会からの排除措置命令等・他		3	2.09	無いほうが高得点。未回答はゼロ点。
18	不祥事などによる操業・営業停止		3	2.09	無いほうが高得点。未回答はゼロ点。
19	コンプライアンスに関わる事件・事故での刑事告発		3	2.09	無いほうが高得点。未回答はゼロ点。
20	海外での価格カルテルによる摘発		3	1.95	無いほうが高得点。未回答はゼロ点。
21	海外での贈賄による摘発		3	1.96	無いほうが高得点。未回答はゼロ点。
22	汚職・贈収賄防止の方針		3	2.27	「有」のほうが高得点。内容の回答でプラス得点。
23	政治献金等の開示		3	1.56	数値回答有で評価。3年連続回答有が、最も得点が高い。
24	内部統制の評価		3	2.89	「有効」が最も高い評価。未上場は一定得点。
25	相談役・顧問制度の状況についての開示		1	0.91	回答があれば得点あり。
26	社外取締役による経営者評価		2	1.43	「行っている」で得点あり。
27	任意を含む指名・報酬委員会等の設置		2	1.59	「設置している」で得点あり。
28	ESG等関連指標の役員報酬への反映		2	0.34	「反映している」で得点あり。
29	情報システムに関するセキュリティポリシーの有無		2	1.76	「策定済み」で得点あり。
30	情報システムのセキュリティに関する内部監査の状況		2	1.66	「定期的実施」のほうが高得点。
31	情報システムのセキュリティに関する外部監査の状況		2	1.27	「定期的実施」のほうが高得点。
32	プライバシー・ポリシーの有無		1	0.83	「制定済み」で得点あり。
33	リスクマネジメント・クライシスマネジメントの体制		2	1.65	「有」のほうが高得点。
34	リスクマネジメント・クライシスマネジメントに関する基本方針		2	1.57	「有」のほうが高得点。
35	リスクマネジメント・クライシスマネジメントに関する対応マニュアルの有無		3	2.43	「有」のほうが高得点。
36	リスクマネジメント・クライシスマネジメント体制の責任者		2	1.71	「代表者」「代表者に準ずる取締役等」が最も得点が高い。
37	BCM構築		2	1.23	「有」のほうが高得点。
38	BCP策定		2	1.59	「有」のほうが高得点。
39	リスクマネジメント・クライシスマネジメントの取り組み状況		2	1.34	回答があれば得点あり。
40	企業倫理方針の文書化・公開		3	2.37	「文書化・公開」のほうが高得点。
41	倫理行動規定・規範・マニュアルの有無		2	1.66	「有」のほうが高得点。
		基礎得点満点	98		

■社会性

No	評価項目	2023年版 新規	得点	平均点	ポイント
1	消費者対応部署の有無		2	1.26	「専任部署:有」のほうが得点は高い。
2	社会貢献担当部署の有無		2	1.05	「専任部署:有」のほうが得点は高い。
3	商品・サービスの安全性・安全体制に関する部署の有無		2	1.34	「専任部署:有」のほうが得点は高い。
4	社会貢献活動支出額		6	1.85	規模(売上高)別の3年間の合計額で得点化。
5	NPO・NGO等との連携		4	2.28	「有」のほうが得点は高い。
6	ESG情報の開示		3	2.45	「有」のほうが得点は高い。
7	投資家・ESG調査機関との対話		2	1.37	「行っている」のほうが得点は高い。
8	消費者からのクレーム等への対応マニュアルの有無		2	1.45	「有」のほうが得点は高い。
9	同クレームのデータベースの有無		2	1.51	「有」のほうが得点は高い。
10	ISO9000Sの取得状況(国内・海外)		3	1.58	取得率が高いほうが得点は高い。自社独自の取得率(把握率)でも可。国内・海外を合わせた評価。
11	ISO9000S以外(独自等)の品質管理体制		3	1.25	内容の記載があればプラス得点。
12	地域社会参加活動実績		2	1.63	妥当な回答があれば得点。
13	教育・学術支援活動実績		2	1.35	妥当な回答があれば得点。
14	文化・芸術・スポーツ活動実績		2	1.30	妥当な回答があれば得点。
15	国際交流活動実績		2	0.93	妥当な回答があれば得点。
16	サステナブル調達の実施		4	2.39	「行っている」のほうが得点は高い。さらに、基準の開示、調達先監査・評価でプラス得点。
17	サステナブル調達の取り組み事例		2	0.95	妥当な回答があれば得点。
18	取引先に対する基本方針		2	1.39	「有」のほうが得点は高い。
19	紛争鉱物の対応		2	1.18	「対応している」のほうが得点は高い。
20	SDGsの目標への意識		2	1.65	「参考にしている」のほうが得点は高い。
21	SDGsの目標達成基準		2	0.98	「数値等で持っている」のほうが得点は高い。具体的な対応や目標の回答があればプラス得点。
22	SDGs17の目標対応状況	●	3	2.35	各目標の対応状況で得点化。上限あり。
23	社会課題解決ビジネスの取り組み		4	1.78	「CSVの取り組み」「BOPビジネス」を行っていれば得点。具体的な取り組み(CSVを含む)の回答があればプラス得点。
24	海外での課題解決の活動		2	0.90	妥当な回答があれば得点。
25	ボランティア休暇		4	1.58	3年間の合計取得者がいるほうが得点は高い。さらに一定人数以上でプラス得点。
26	ボランティア休職・青年海外協力隊参加		4	0.30	取得者がいるほうが得点は高い。さらに一定人数以上でプラス得点。
27	マッチング・ギフト		1	0.19	「有」のほうが得点は高い。
28	ボランティア休暇等の社員への周知		3	1.41	「行っている」のほうが得点は高い。さらに具体的内容があればプラス得点。
29	社員向けの社会課題解決への関心を高める取り組み		3	1.99	「行っている」のほうが得点は高い。さらに具体的内容があればプラス得点。
30	プロボノ支援		4	1.17	「行っている」のほうが得点は高い。「社員が行うプロボノ活動の支援取り組み」でプラス得点。
31	CSR関連の表彰歴		2	0.68	表彰事例に回答があれば得点あり。2年連続で有のほうが得点は高い。
32	自然災害・パンデミックへの支援		4	2.60	「行っている」のほうが得点は高い。他の復興支援や新型コロナ課題解決でプラス得点。
		基礎得点 満点	87		